

「やまと絵」のなかの中国

～室町時代の画文交響の一断面～

土佐光信と《西湖放鶴図》を中心に

日時:2019年1月27日(日)14:00～15:30

会場:県立文学館2階研修室

講師:高岸輝氏(東京大学大学院准教授)

1971(昭和 46)年、米国イリノイ州生まれ。2000(平成 12)年、東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了、博士(美術)。東京工業大学大学院准教授を経て現職。主著に『室町王権と絵画―初期土佐派研究』(京都大学学術出版会、2004年)、『室町絵巻の魔力―再生と創造の中世』(吉川弘文館、2008年)。



当館蔵『古今和歌集』写本(伝東常縁筆)の見返し絵は、別の絵巻から切り出された絵が、この写本がおそらく江戸時代に現在の姿に改められた際に、装丁されたものと考えられます。その価値を見いだし、室町時代の土佐派を代表する絵師・土佐光信が描いた可能性を指摘されている美術史家・高岸輝先生をお招きし、美術と文学、和と漢が交わる場所に位置する本作の特異な魅力について、お話しいただきます。

後見返し絵:1月30日(水)～2月4日(月)

見返し絵:1月23日(水)～28日(月)

※作品公開は常設展示(一般200円、9時30分～17時、観覧受付は16時30分まで)の中で行います。
特別公開会期中の企画展「文学者の書」をご覧の方は、あわせて常設展示もご覧いただけます。

◎講座申し込み方法

電話、当館受付カウンターで申し込みを受け付けます。参加無料。定員100名(申込順)。

※事前の申し込みが定員に達しない場合には、当日受付も行います。

〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町 2000 電話 027-373-7721 <http://bungaku.pref.gunma.jp/>



群馬県立土屋文明記念文学館

Gunma Prefectural Museum of Literature in Commemoration of Bunmei Tsuchiya